

2014年度 日本気象学会東北支部第1回理事会 議案

日時：2014年6月13日（金）15時30分～17時30分

場所：仙台管区気象台第3会議室

開会の挨拶：境田支部長代理

出席者紹介

議 題

- | | |
|--------------------------|--------|
| 1. 日本気象学会東北支部第29期役員選挙の結果 | 2 ページ |
| 2. 新支部長及び新常任理事の互選 | 2 ページ |
| 3. 事業等の担当理事の選任 | 3 ページ |
| 4. 2013年度事業報告及び会計報告 | |
| (1) 2013年度事業報告 | 3 ページ |
| (2) 2013年度会計報告 | 5 ページ |
| 5. 2013年度会計監査報告 | 7 ページ |
| 6. 2014年度事業計画及び予算 | |
| (1) 2014年度事業計画 | 8 ページ |
| 1) 支部気象講演会 | 8 ページ |
| 2) 支部気象研究会 | 8 ページ |
| 3) 支部だよりの発行 | 8 ページ |
| 4) 支部理事会 | 8 ページ |
| 5) 支部強化基金による活動 | 9 ページ |
| 6) 日本気象学会奨励賞などへの応募 | 9 ページ |
| (2) 2014年度予算案 | 10 ページ |
| 7. その他 | |
| 事務局から | 12 ページ |

資 料

- | | |
|-----------------------------|--------|
| 2014年度支部活動強化基金による活動計画(提出資料) | 13 ページ |
| 役員名簿案(第29期2014年度) | 14 ページ |
| 東北支部規則 | 15 ページ |
| 東北支部細則 | 16 ページ |

1. 日本気象学会東北支部第29期役員選挙の結果

第29期東北支部役員選挙は、山崎幹事を選挙管理人とし3月27日告示、4月25日～5月21日投票、5月28日開票事務を実施。次のとおり役員が決定した(あいうえお順)。

在仙理事

青木 周司 氏	東北大学大学院理学研究科教授
岩崎 俊樹 氏	東北大学大学院理学研究科教授
佐伯 芳 氏*	日本気象協会東北支局長
境田 清隆 氏	東北大学大学院環境科学研究科教授
杉山 公利 氏	日本気象予報士会東北支部長
高瀬 邦夫 氏*	仙台管区気象台長
菫澤 浩 氏	仙台管区気象台気象防災部長
渡辺 真二 氏*	仙台管区気象台気象防災部予報課長

地方理事

児玉 安正 氏	弘前大学大学院理工学研究科准教授
高橋 清利 氏	福島地方気象台長

会計監査

小室 肇 氏	仙台管区気象台気象防災部次長
--------	----------------

* 印は新任

2. 新支部長及び新常任理事の互選

「支部規則」第10条に基づき、新支部長、新常任理事を選出する。
事務局(案)は次のとおり。

*事務局(案)

支部長	高瀬 邦夫 氏	仙台管区気象台長
常任理事	青木 周司 氏	東北大学大学院理学研究科教授
	岩崎 俊樹 氏	東北大学大学院理学研究科教授
	佐伯 芳 氏	日本気象協会東北支局長
	境田 清隆 氏	東北大学大学院環境科学研究科教授
	杉山 公利 氏	日本気象予報士会東北支部長
	菫澤 浩 氏	仙台管区気象台気象防災部長
	渡辺 真二 氏	仙台管区気象台気象防災部予報課長

・新支部長挨拶

3. 事業等の担当理事の選任

- ・事務局(案)は次のとおり。

* 事務局(案)

①支部気象講演会 (2014年度福島開催) (2015年度宮城開催)	境田常任理事 高橋地方理事 在仙理事
②支部気象研究会	渡辺常任理事
③東北支部だより	児玉地方理事
④支部独自活動	杉山常任理事
⑤支部事務局	渡辺常任理事
⑥会計監査	小室会計監査

- ・東北支部第29期役員の内任期は2015年度まで

- ・理事および会計監査に欠員を生じた場合は支部規則に沿う
- ・支部長の代行は支部規則に沿う

- ・全国理事

岩崎理事が第38期理事候補者選挙において当選

※ 日本気象学会東北支部第29期役員名簿は、14ページのとおり。

4. 2013年度事業報告及び会計報告

(1) 2013年度事業報告

1) 秋季大会

日時：2013年11月19日(火)～21日(木)

場所：仙台国際センター

参加者 821名

2) 東北支部気象講演会

日時：2013年10月20日(日)

場所：弘前大学創立50周年記念会館「みちのくホール」

テーマ：「身近な風を知る ー突風とヤマセー」

講演 ①「突風研究の最前線」

楠 研一氏(気象庁 気象研究所 気象衛星・観測システム研究部第四研究室長)

講演 ②「ヤマセの観測」

児玉 安正氏(弘前大学 大学院理工学研究科 寒地気象実験室長)

参加人数：約70名(一般市民、学生及び防災に関わる機関や団体職員)

3) 東北支部気象談話会

日時：2013年10月21日（月）

場所：仙台管区気象台 第1会議室（4階）

演題：「冬季日本海側の竜巻等突風に関する最新研究」

楠 研一氏（気象庁 気象研究所 気象衛星・観測システム研究部第四研究室長）

参加人数：約40名（気象台職員、気象学会員）

4) 支部強化基金による活動

第4回気象サイエンスカフェ東北

日時：2014年3月9日（日）

場所：日立システムズホール仙台（仙台市青年文化センター）研修室2

テーマ：「竜巻から身を守る」

-竜巻などの激しい突風からどのように身を守るかを考えてみよう-

話題提供：白川 栄一（仙台管区気象台気象防災部予報課予報課長）

司会：鈴木智恵（日本気象協会東北支局 気象予報士）

参加人数：36名（一般参加者13名）

5) 東北支部だより

第76号（2013年7月発行）

第77号（2013年10月発行）

第78号（2014年2月発行）

6) 支部理事会

第1回（2013年5月28日，仙台管区気象台第3会議室）

臨時（2014年1月20日，仙台管区気象台第3会議室）

第2回（2014年3月14日，仙台管区気象台第3会議室）

7) 2013年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）の公募

申請はなし

8) 2014年度日本気象学会奨励賞への応募

葦澤理事より、山形地方気象台 阿曾 知子氏 を推薦した。

(2) 2013年度会計報告

〔支部一般会計〕(2013年4月1日～2014年3月31日)

	予算額	決算額	差異
I 収入の部			
事業活動収入			
本部交付金	578,000 円	578,000 円	0 円
前期繰越金	97,146 円	97,146 円	0 円
事業収入(広告料等)	0 円	0 円	0 円
雑収入			
預金利息	50 円	245 円	195 円
事業活動収入計(1)	675,196 円	675,391 円	195 円
II 支出の部			
事業活動支出			
事業費支出			
支部だより	230,000 円	200,015 円	29,985 円
支部気象講演会	250,000 円	210,246 円	39,754 円
支部気象研究会	0 円	0 円	0 円
気象サイエンスカフェ補助	0 円	73 円	△73 円
ホームページ運営費	15,000 円	15,000 円	0 円
管理費支出			
支部理事会	108,000 円	57,480 円	50,520 円
支部役員選挙	20,000 円	6,750 円	13,250 円
事務費	10,000 円	17,190 円	△7,190 円
事業活動支出計(2)	633,000 円	506,754 円	126,246 円
III 予備費支出			
予備費支出	42,196 円	0 円	42,196 円
予備費支出計(3)	42,196 円	0 円	42,196 円
当期収支(A)=(1)-(2)-(3)	0 円	168,637 円	
次期繰越額(A)	0 円	168,637 円	

※マイナスの金額には、△印を付した。

*本会計報告は、2013年度第2回支部理事会(2014年3月14日)以降の収支を含んだ、2014年3月までのもの。

〔支部強化基金による活動会計〕（気象サイエンスカフェ東北）

	予算額	決算額	差異
I 収入の部			
事業活動収入			
本部交付金	85,000 円	85,000 円	0 円
気象予報士会分担金	10,000 円	0 円	△10,000 円
事業収入（広告料等）	0 円	0 円	0 円
雑収入	0 円	0 円	0 円
事業活動収入計(1)	95,000 円	85,000 円	△10,000 円
II 支出の部			
事業活動支出			
事業費支出			
資料印刷費	30,000 円	28,350 円	1,650 円
講師謝金	15,000 円	0 円	15,000 円
事務費	25,000 円	15,972 円	9,028 円
役務費・交通費	25,000 円	29,080 円	△4,080 円
会場費 開催費	円	11,671 円	△11,671 円
事業活動支出計(2)	95,000 円	85,073 円	9,927 円
当期収支差額=(1)-(2)	0 円	△73 円	

※マイナスの金額には、△印を付した。

5. 2013年度会計監査報告

2013年度会計監査報告

預金通帳，現金，領収書を照合の結果，誤りがないことを認めます。

2014年 3月 26日

日本気象学会東北支部会計監査

小室 肇 

6. 2014年度事業計画及び予算

(1) 2014年度事業計画

1) 東北支部気象講演会

2007年度以降の開催状況

年度	開催地	講演者		
2007年度	青森市	板谷 宏之	児玉 安正	
2008年度	福島市	渡邊 明	大久保 忠之	
2009年度	大崎市	境田 清隆	大場 淳司	
2010年度	秋田市	佐藤 威	栗田 邦明	
2011年度	盛岡市	岩崎 俊樹	神田 英司	
2012年度	山形市	阿部 修	柳澤 文孝	
2013年度	弘前市	楠 研一	児玉 安正	

2014年度は福島県で開催予定です。

【概要】

日 時：平成26年11月23日（日） 14時00分～16時30分（開場13時30分）

会 場：コラッセふくしま 多目的ホール（4F）（スクール形式 288名）

〒960-8053 福島県福島市三河南町1番20号

テーマ：「東日本大震災以後の福島の空 ―豪雨、大雪、大気中放射性物質―」

講演者：渡邊 明氏（福島大学 共生システム理工学類 特任教授）

小畑 英樹氏（福島地方気象台 観測予報管理官）

2015年度は宮城県で開催。今後(2014年秋以降)準備を進めていくこととします。

(担当理事は境田理事及び、在仙の理事)

2) 東北支部気象研究会

仙台管区気象台の調査研究会に合わせて共催で開催予定。

2014年度の開催については、仙台管区気象台 防災調査課と検討（12月9日を予定）

3) 東北支部だより

年3回発行(第79号、80号、81号)の予定。

4) 支部理事会

年2回開催している。

2014年度第1回理事会 本日開催（支部役員選挙後、全国支部長会議前）。

2014年度第2回理事会は、全国支部長会議に東北支部の意見を取りまとめたため1月に開催する。

5) 支部強化基金による活動

気象サイエンスカフェ東北を秋頃に仙台市で開催する。今後、準備を進めていく。
ワーキンググループの立ち上げについて
(別紙参照[P13])

開催日(予定) : 2014年11月8日 (土)

テーマ : 未定

開催場所 : 未定

6) 日本気象学会奨励賞などへの応募

(2) 2014年度予算案

〔支部一般会計〕

	2014年度予算額	2013年度予算額	増減
I 収入の部			
事業活動収入			
本部交付金	*1567,200円	578,000円	△10,800円
前期繰越金	*2168,637円	97,146円	71,491円
事業収入(広告料等)	0円	0円	0円
雑収入			
預金利息	50円	50円	0円
事業活動収入計(1)	735,837円	675,196円	60,641円
II 支出の部			
事業活動支出			
事業費支出			
支部だより	230,000円	230,000円	0円
支部気象講演会	250,000円	250,000円	0円
支部気象研究会	40,000円	0円	40,000円
気象サイエンスカフェ補助	0円	0円	0円
ホームページ運営費	15,000円	15,000円	0円
管理費支出			
支部理事会	70,000円	108,000円	△38,000円
支部役員選挙	20,000円	20,000円	0円
事務費	10,000円	10,000円	0円
事業活動支出計(2)	635,000円	633,000円	2,000円
III 予備費支出			
予備費支出	100,837円	42,196円	58,641円
予備費支出計(3)	100,837円	42,196円	58,641円
当期収支差額(A)=(1)-(2)-(3)	0円	0円	0円
次期繰越収支差額(A)+(B)	0円	0円	0円

※マイナスの金額には、△印を付しました。

*1本部交付金は、支部会員181名×1,200円+35万円

*2支部気象研究会は、昨年度は秋季大会開催より実施しなかった。

支部強化基金による活動(気象サイエンスカフェ東北)会計は、別会計とする。

〔支部強化基金による活動会計〕（気象サイエンスカフェ東北）

	2014年度 予算額	2013年度 予算額	2013年度 決算額	予算額増減 [2014年-2013年]
I 収入の部				
事業活動収入				
本部交付金	77,000円	85,000円	85,000円	△8,000円
気象予報士会分担金	*110,000円	*110,000円	0円	10,000円
事業収入（広告料等）	0円	0円	0円	0円
雑収入	0円	0円	0円	0円
収入計(1)	87,000円	95,000円	85,000円	△8,000円
II 支出の部				
事業活動支出				
事業費支出				
資料印刷費	22,000円	30,000円	28,350円	△8,000円
会場費 開催費	10,000円		11,671円	10,000円
講師謝金	15,000円	15,000円	0円	0円
事務費	15,000円	25,000円	15,972円	△5,000円
役務費・交通費	25,000円	25,000円	29,080円	△5,000円
事業活動支出計(2)	87,000円	95,000円	85,073円	△8,000円
III 予備費支出	0円	0円	0円	0円
予備費支出計(3)	0円	0円	0円	0円
当期収支差額(A)=(1)-(2)-(3)	0円	0円	△73円	0円

※マイナスの金額には、△印を付した。

*1気象予報士会分担金は予定

7. その他

事務局から

①東北支部会員数（個人会員）

2014年4月25日現在

県名	会員数	2013.04
青森県	25名	24名
岩手県	20名	19名
秋田県	13名	14名
山形県	14名	14名
宮城県	88名	92名
福島県	22名	27名
合 計	182名	190名

8名減

②旅費等について

交通費については

青森は 22,500円 [11210円×2]

弘前は 22,900円 [11430円×2]

盛岡は 12,400円 [6160×2]

山形は 2,600円 [1280円×2]

福島は 2,700円 [1320円×2]

仙台、岩沼は1,000円をお願いします。

※端数は切り上げています。

[別紙]

東北 支部(1/1)

2014年度支部活動強化基金の補助を受けた支部活動計画

1 事業名

気象サイエンスカフェ東北

2 概要

(1) 事業の意義、必要性、事業内容の概略

一般の方が興味をもつような気象のトピックスを取り上げ、専門家にわかりやすく解説していただき、また、十分な時間を確保して、議論することで理解を深めていただく。

気象知識の一般への普及の面では効果的と思われる。

(2) 実施の時期及び場所

2014年度(開催月は未定)

仙台市

(3) 事業の対象者

一般市民、会員、気象予報士、気象台職員など

3 経費の概算

合計	77,000円
内訳	
資料印刷費	22,000円
講師謝金	15,000円
役務費	20,000円
事務費	20,000円

4 連絡先及び担当者

宮城県仙台市宮城野区五輪1-3-15 仙台管区気象台内

金濱 晋 (Tel: 022-297-8177 IP: 特番-201-2299)

東北支部長 牧原 康隆



日本気象学会東北支部第 29 期 2014 年度役員名簿（案）

2014 年 6 月 13 日現在

支部長	高瀬 邦夫	仙台管区気象台長
常任理事	青木 周司	東北大学大学院教授（理学研究科）
	岩崎 俊樹	東北大学大学院教授（理学研究科）
	佐伯 芳	日本気象協会東北支局長
	境田 清隆	東北大学大学院教授（環境科学研究科）
	杉山 公利	日本気象予報士会東北支部長
	蕪澤 浩	仙台管区気象台気象防災部長
	渡辺 真二	仙台管区気象台気象防災部予報課長
地方理事	児玉 安正	弘前大学大学院准教授（理工学研究科）
	高橋 清利	福島地方気象台長
会計監査	小室 肇	仙台管区気象台気象防災部次長
幹事	山崎 剛	東北大学大学院准教授（理学研究科）
	折笠 成宏	仙台管区気象台気象防災部防災調査課 調査官
	金濱 晋	仙台管区気象台気象防災部地球環境・海洋課 技術専門官

日本気象学会東北支部規則

昭和 32. 5. 26	成立
昭和 32. 7. 5	第 8. 11 条を改正、 第 15～19 条を追加
昭和 40. 11. 18	第 8 条を改正
昭和 56. 10. 12	第 2 条を改正
昭和 60. 3. 19	第 9 条を改正
平成 2. 6. 21	第 8 条を改正
平成 6. 2. 28	第 8. 9. 12. 14. 18 条を改正
平成 9. 6. 3	第 2 条を改正
平成 22. 6. 11	第 8 条を改正
平成 25. 6. 20	第 1. 2. 18 条を改正

- 第 1 条 本支部は公益社団法人日本気象学会東北支部という。
- 第 2 条 本支部は事務所を仙台市宮城野区五輪一丁目 3 番 15 号第 3 合同庁舎、仙台管区気象台内に置く。
- 第 3 条 本支部は東北 6 県に在住する全ての日本気象学会員で構成される。
- 第 4 条 本支部は日本気象学会の定款の範囲内で事業を行うが、特に支部会員の研究の奨励、推進ならびに相互の連絡につとめることを目的とする。
- 第 5 条 本支部は前条の目的を達成するために、講演会ならびに学術的会合の開催、その他この支部の目的にかなう事業を行う。
- 第 6 条 本支部の事業年度は毎年 4 月 1 日にはじまり、翌年 3 月 31 日に終わる。
- 第 7 条 本規則の実行に必要な細則は、支部理事会の決議によって別に定める。
- 第 8 条 本支部に次の役員を置く。
理事 8～11 名（常任理事 2～8 名内支部長 1 名）、会計監査 1 名。
- 第 9 条 理事および会計監査は支部会員の選挙によって定める。
ただし、任期中に欠員が生じた場合は細則の定めるところによって補充する。
- 第 10 条 支部長および常任理事は理事の互選によって理事の中から定める。
- 第 11 条 支部長はこの支部を代表して会務を総理する。支部長に事故があるとき、または欠けたときは、支部長があらかじめ指名した常任理事がその職務を代行する。
- 第 12 条 理事はこの支部の会務を行う。会計監査は支部の会計を監査する。
- 第 13 条 支部長は必要に応じ、会務の一部を処理するため幹事（2～3 名）を置くことができる。
- 第 14 条 理事および会計監査の任期は 2 年とする。ただし、重任は妨げない。
理事および会計監査は任期満了後でも後任者の就任するまでその職務を行う。
- 第 15 条 支部長は毎年 1 回および必要に応じて理事会を招集する。
- 第 16 条 理事会は過半数の理事の出席がなければ成立しない。
- 第 17 条 支部長は次の事項を理事会の承認を得て会員に報告しなければならない。
（1）事業計画および収支決算
（2）その他理事会において必要と認めた事項
- 第 18 条 本支部の経費は本部交付金（支部強化基金を含む）とする。
- 第 19 条 この規約は理事の 3 分の 2 以上の賛成を得なければ変更することができない。
- 付則
- 第 20 条 この支部の設立当初の役員は設立準備会でこれを選任する。

以上

日本気象学会東北支部細則

昭和33. 7. 5	成立
昭和40. 11. 18	1項を改正
昭和41. 3. 15	7項を改正
昭和60. 3. 19	12、13、14の各項を改正
平成6. 2. 28	1、8、9、12、13の各項を改正
平成22. 6. 11	1項を改正
平成26. 3. 14	1項を改正

役員選挙

- 1 理事は東北地区在住の会員より8～11名選出する。このうち在仙理事5～8名、地方理事若干名とする。
会計監査は東北地区在住の会員より1名を選出する。
- 2 次期理事の定数および在仙・地方別理事数は理事会で決定する。
- 3 候補者は理事会の推薦者および立候補者とし、投票締切日の20日前までに決定のうえ、会員に周知させるものとする。
- 4 立候補者は投票締切日の30日前まで支部長宛に届け出るものとする。
- 5 投票は無記名連記とする。ただし、連記数は第2項の決定による在仙・地方別理事数とする。
- 6 投票は文書投票とする。
- 7 有効投票により、各地区別に投票の多い順に次期理事を決定する。同数の場合は年少者を上位とする。ただし、得票数が有権者の10分の1に満たない者は理事に就任することができない。次点者も同様とする。
- 8 当選者が理事および会計監査就任を辞退した場合は次点者を繰り上げる。
- 9 理事および会計監査に欠員が生じた場合の補充は次点者をあてる。
- 10 開票は常任理事立ち会いのもを行う。
- 11 開票の結果は会員に報告する。
- 12 理事および会計監査に欠員を生じ、第9項による補充ができない場合は、理事会の推薦によって補充する。
- 13 第9項または第12項による補充理事および会計監査の任期は前理事および会計監査の残存期間とする。
- 14 そのほか選挙にあたって必要事項は支部長が決定し、事後に理事会に報告する。

以上